



川中だより

令和6年12月24日(火)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第9号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

みなさんは帝国ホテルをご存じですか？

今年で創業134年になる、伝統と格式のある日本を代表するホテルの一つです。

ハリウッド映画「JM」の中で、俳優のキアヌ・リーブスが劇中カーチェイスの連続で泥だらけになったワイシャツを見て、アドリブで「東京の帝国ホテルのようなランドリーにシャツを出したいよ」と言いました。これは、以前彼が来日して帝国ホテルに宿泊し、その素晴らしさから映画の中でアドリブを入れたようです。他にも、喜劇王チャーリー・チャップリンや俳優マリリン・モンロー、映画監督リュック・ベソンなど、帝国ホテルのもてなしに感動して気に入ったVIPは多くいるそうです。

それでは、なぜそこまで帝国ホテルはいろいろな人たちに愛され、130年以上もの間続いているのでしょうか？それは、ただ高級なだけではないようです。

川名幸夫著「帝国ホテル 伝統のおもてなし」の中に、いくつかその秘訣が紹介されています。この本の中で、帝国ホテルが大切にしていることは「伝統」と「革新」だと紹介しています。帝国ホテルほどの老舗として引き継がれる伝統だけでなく、常に新しいものに挑戦してきたそうです。帝国ホテルが始めた“日本初”には、以下のものがあります。

①ホテルで行うディナーショー ②ホテルで行う結婚式 ③食べ放題ビュッフェなど

どれも、現代では当たり前に行われているものですが、実は帝国ホテルが日本で最初に始めたことが、その後日本の「当たり前」になっていったのです。

反面、帝国ホテルには大切にしてきた「伝統」もあります。それは、「おもてなしの心」です。帝国ホテルの接客に簡単な作業書のようなものはありますが、マニュアルはないそうです。それでも大切に引き継がれてきた伝統があります。例えば、以下のようなものです。

- ① ホテルのランドリーサービスでは、お客様がつけてしまったシミで、落とせないものはない。また、ボタンがとれた人のために常に200種類の替えボタンを用意している。
- ② 客室係は、客が帰った後も客室のゴミをしばらく保管し、間違えて捨てたものを処分しないよう備えている。
- ③ 玄関に立っているドアマンは、タクシーで到着した客が一万円札しか持っていない時のために、両替用の千円札と五千円札をポケットに忍ばせている。 など

どれも、利益になるための大きなサービスではないですが、「もてなしの心」を大切にす帝国ホテルの従業員の間で、脈々と引き継がれてきた伝統だそうです。こういった、「伝統」と「革新」を兼ね備えた帝国ホテルの接客力があるからこそ、多くの人たちから愛されているのかもしれませんが。

さて、去る11月29日に、本校で生徒会役員を決めるための立会演説会と役員選挙が実施されました。どの候補者からも「〇〇を通して、こんな学校にしたい。」と、これからの川東中をより良くしたいという強い思いと決意が込められた演説でした。その様子から、私としても「心強い」と同時に、「大きな期待」を感じる演説会となりました。

3年生が中心の現生徒会の三役、委員長は2月の生徒総会をもって、新しい役員に引き継がれます。今の3年生が昨年生徒会のリーダーになった時、リーダー研修会で校長の私から「先生達に指示されて、言われた通りにやるのではなく、自分達がこういう学校にしたいという強い思いをもって、生徒が前面に出て、考え企画し、実行できる生徒会になってほしい。どんどん挑戦してほしい」とお願いしました。3年生は見事にそれを実行し、生徒会行事や学校のルール作りに大きな成果を上げてくれました。これからも、川東中の生徒主体で活動するという「伝統」を守り、さらに新しいものに挑戦する「革新」を期待しています。